連立方程式② 加減法（係数をそろえる）

中2／何倍かして係数をそろえる 6問

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり　消したい文字の係数を、同じ数にそろえてから たす・ひく

れい（上の式を①、下の式を②とよぶ）

① $2x + 3y = 12$ ×3 → $6x + 9y = 36$

② $3x + 2y = 13$ ×2 → $6x + 4y = 26$

①×3−②×2 → $5y = 10$

$y = 2$ → ① に入れて $x = 3$

1 係数の 最小公倍数を 見つける

2 その数になるよう 式を何倍かする

3 右辺にも 同じ数を かける

4 たすかひくかを決めて 1つ消す

5 求めた値を もとの式に入れる

次の連立方程式を、加減法で解きなさい。まず、消したい文字の係数を同じ数にそろえます。
式を何倍かするときは、右辺にも同じ数をかけます。答えは x と y の両方を書く。

問1 $\begin{cases} 3x + 4y = 22 \\ 6x - 5y = -8 \end{cases}$ $x =$ ＿　$y =$ ＿

とき方

問2 $\begin{cases} x + 3y = -8 \\ 2x + 5y = -15 \end{cases}$ $x =$ ＿　$y =$ ＿

とき方

問3 $\begin{cases} 3x + 5y = -24 \\ 5x - 4y = 34 \end{cases}$ $x =$ ＿　$y =$ ＿

とき方

問4 $\begin{cases} x + 4y = -21 \\ x - 2y = 15 \end{cases}$ $x =$ ＿　$y =$ ＿

とき方

問5 $\begin{cases} 4x + 3y = 19 \\ 2x - 5y = -23 \end{cases}$ $x =$ ＿　$y =$ ＿

とき方

問6 $\begin{cases} 2x + 5y = -14 \\ 6x - y = -10 \end{cases}$ $x =$ ＿　$y =$ ＿

とき方

見直し　□ 右辺にも同じ数をかけた　□ 答えを もとの式に入れて 確かめた　まちがい（　　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「連立方程式」のプリント一覧がひらきます